2021年 6月 15日 No.207　　発行責任者 田中 孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第207号
郵政産業ユニオン PIWU TOKYO

郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3－6－3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

五輪を止めコロナ対策の強化を

リスクがあると知っていながら何故開催する

6月11日、東京五輪・パラリンピック組織委員会は、観客や大会関係者などの来訪者が1日最大で約34万人（海外関係者、国内関係者、ボランティア等）となると発表しました。

今の動きは戦時中と似ている

これだけの人が東京にくることになれば新規感染者数は8月末に1000人程度になるという試算も発表しています。そして、開催しない場合と開催した場合とでは約200人も多くなるとしています。

菅首相は野党から感染拡大リスクと五輪開催について問われると、「国民の命と健康を守るのは私の責任」「守れなければ(五輪)やらないのは当然」と言います。感染から国民をどのように守るかの説明はなく、開催準備をすすめています。小池都知事も中止を求める42万余の署名に背を向けています。

こうした状況を学者の一人は、戦時中の日本と酷似しているとしています。

反対、疑問の声が次々と

五輪開催は6割から8割が中止、もしくは延期の声があがっています。6月9日には歌手で俳優の加山雄三さんが聖火リレーランナーを辞退しました。加山さんは「世界の状況を見たとき、手放しで開催を喜ぶことはできないので、勇気をもって辞退する」と言っています。6月11日の民放ニュースでは青年が「我々には自粛と言っておきながら、オリンピックで大騒ぎしている。これおかしくないですか」と言っていました。

職場でも「国民に我慢を強いて、開催を強行しようとしている国では我々の命を守ってくれない」という声があがっています。

この声にふまえ「オリンピックを中止してコロナ対策を」という声を大きくしていこう。

人並みな生活ができる時給を

6月7日、東京労働局前で最低賃金の引き上げを求める訴えをする郵政ユニオンの組合員。「食事代は一日500円にして生活している。人並みな生活ができるようにするために引き上げを」と訴えた。

んぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか